

令和3年度 第2回運営推進会議 看護小規模多機能ホームやすらぎ		記載日	令和3年6月11日
		記載者	長田 美紀
議題	1. 利用状況 2. 交流・行事の実施状況 3. 事故・苦情の状況 4. その他		
日時	令和 3年 6月 8日 (火) 意見回収終了 6/11		
紙面開催 敬称略	三入・可部地域包括支援センター センター長 井田 浩美 ご利用者家族代表 植田 美鈴 広島市民生委員 藤原 照夫 上中3区 町内会長 三反田 學 グループホームなごみの郷 管理者 廣森 靖司 看護小規模多機能ホームやすらぎ 管理者 長田 美紀 計画作成担当者 泉 辰徳		
議事	事前に、書面にて報告書を送付し、意見・承認をいただいた。 ① 【利用状況（令和 3年 5/31 現在）】 看護小規模多機能型居宅介護登録者：27名 要介護1： 0人 要介護2： 2人 要介護3： 7人 要介護4： 6人 要介護5： 7人 区分変更申請中： 5名（全て暫定4） *平均介護度： 3.85 （前回報告時 3.64） *平均年齢 ： 84歳 ・新規利用… 4月：1名 5月：4名 理由：施設退所、退院直後、ターミナルケア ・利用終了… 4月：3名 5月：1名 理由：ご逝去、状態安定でサービス変更 <u>通い</u> 利用者実数：27名 一日平均利用者数：10.32名 *状態が不安定で、入浴にだけ短時間（1 - 2時間）で 通いサービスを利用する利用者が1日あたり4-5名いる。 利用時間が重複しないようにしているが、1日平均を実人数にすると、 上記10.32人に3-4人足すくらいの人数が来所している。 <u>訪問</u> 看護： 19名 介護： 18名		

泊まり

泊り利用の実人数 12名/27名

平均宿泊者人数 5.77名/日

延べ宿泊者数 341名(4/1-5/31)

長期宿泊者人数 2名

長期となっている理由

- ・ご本人・ご家族の体調不良や病状不安定
- ・施設入所待ち
- ・新型コロナウイルス感染症予防

②【交流・行事等の実施状況】

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大予防のために交流会は中止。ご利用者の様子についての情報は連絡ノートの活用や電話連絡も含め個別に実施。
- ・現在自粛中。今後は感染症の動向を見ながら検討。
- ・ゲーム式トレーニング(体操含む)、個別趣味活動(編み物・塗り絵・工作・天風録の転写など)大々的な行事は「密」を避けるため実施していない。少人数グループで毎日プログラムを組み実施中。

③【事故・苦情の状況(4/1-5/31)】

●事故…1件 転倒事故

(状況)

認知症の進行があり最近自力で立ち上がることができない状態であった。14時ころに体操プログラムに参加するため、車いすに座っていただき定位置へご案内した後、職員がほかのご利用者に呼ばれその場を離れた。離れた直後に、立ち上がり、顔面から転倒。鼻出血と口腔内の裂傷で安佐市民病院へ受診し縫合の処置を受けた。ご家族も受診に同行していただき、病院からの説明を一緒に受けていただいた。

(要因)

付き添いが必要な認知症の方であったが、ここ数か月、全介助での立ち上がりとなっていたため、一人で立たれるとは思わなかったという油断もあった。また、そばを離れるときにほかのスタッフへ応援要請をしなかった。思い込みと油断があったことが要因である。

(その後の経過)

脳出血の兆候や口腔内の創部の感染がないか観察するため、泊りサービスを利用していただき経過観察を行った。口腔内の縫合部分の傷は歯科で診てもらい、歯の欠損や損傷がないこともあわせて確認していただいた。身体の動きが悪くなったり、意識レベルの低下をきたしたりはなく、状態は安定している。ご家族からは、拘束ベルトを着けてもらえないかと提案があったが、身体拘束になる上に、認知症ケアにはふさわしくないことをお伝えして、今後見守りを継続していく際に、そばから離れるときはほかの職員に交代することを徹底して対応することをお伝えした。ご家族にはご理解をいただいた。

④【その他・今後の予定】

【新型コロナウイルス感染症対策等について】

5/16に緊急事態宣言が発令されて以降、さらなる感染症対策を実施。

サービス利用中の面会については、【特定の方1名】とし健康チェックを行い問題なければ面会していただいていたが、ここに時間を10分以内に制限させていただくことを追加した。認知症の方や、終末期の方もいらっしゃるため個別に相談にはのるのが原則を強化しお伝えした。8割の方からご協力いただいている。

⑤【意見交換・地域情報共有】

(看護小規模多機能ホームやすらぎから)

新型コロナウイルス PCR検査陽性が職員やご利用者に認められた場合を想定して事業所内でシミュレーションをしました。単体で行っているデイサービスやデイケアのようにご利用者へのサービス提供を全面中止することはできないので、保健センターや介護保険課へ指示を仰ぎながら対応していこうと考えています。通いサービスの中止、泊りサービスは長期利用中以外の中止、訪問サービスに切り替えて対応を検討。現在24名中、14名がワクチン接種を終了している状況です。ワクチンが感染予防に100%有効というわけではありませんが、可能な限り皆様への影響を最小限に、必要なサービスの継続を検討中です。状況に応じて、方針を変更していかななくてはならないため日々情報収集を行います。

【連泊利用者の承認】

現在、二名の連泊者の方がおられます。①ご家族の体調不良(加療中)で介護負担の軽減のためと、②コロナ感染症予防のためです。②については、キーパーソンの方が医療従事者であるため接触を避けている事情があります。

→連泊以外の方法がない案件であるため、このまま継続でよい。

【次回運営推進会議…8/10(火)10:00~を予定】

以上